

2025年 国東市 10大ニュース

2025年は、皆さんにとってどのような1年だったでしょうか。この1年に市内であった出来事を「国東市10大ニュース」としてまとめました。

□ 政策企画課 広報・DX推進係 ☎72-5008

1位 国東半島芸術文化祭2025を開催。 ラバーダックには5万5千人以上が来場

令和7年10月から11月にかけて開催された国東半島芸術文化祭。期間中は、SNSでも注目を集めた国東ラバーダックプロジェクトや、お寺美術館プロジェクト、私達写真プロジェクト、PICFAアートプロジェクトなどのほか、市民主催の関連行事など、国東半島の随所で芸術と文化に触れる催しが行われました。次の6～7ページでは、より多くの写真で芸術文化祭の様子をお伝えします。



2位 ふるさと納税10年連続県内1位



令和6年度のふるさと納税は、返礼品提供事業者の皆様のご協力のもと、寄付金受入額は2,011,475,725円となり、10年連続で大分県1位となりました（これまでの寄附受入金額総額22,286,157,792円）。いただいた寄付金は、行政サービスの向上や地域経済の発展に大変役立っています。また、寄付のお礼としてお届けする特産品は、寄付者の皆さまからご好評をいただいています。今後も、返礼品提供事業者の皆さまとともに寄付額の向上に向けて取り組んでいきます。



4位 市内企業・事業所による「くにさきUターン応援企業団」が結成。国東市に帰りたい・移住したいと考える人の就職・住居探しなどを支援

市内の労働力不足解消を目的として、市内企業による団体「くにさきUターン応援企業団」が結成されました。就労体験の受け入れや積極的な雇用、市内生活の相談・支援などの活動を行い、国東市に帰りたい・移住したいと考える人の就職・住居探しなどをサポートします。

3位 指定ごみ袋値下げ。可燃・不燃ごみ袋は兼用に、ペットボトルのごみ袋は廃止



指定ごみ袋値下げ。可燃・不燃ごみ袋は兼用に、ペットボトルのごみ袋は廃止

令和7年10月より、指定ごみ袋の価格が改定され、大幅な値下げが行われました。これは宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設「広域事務組合クリーンセンター」の供用開始に伴い、ごみ処理費の削減が見込まれることによって実現したものです。また併せて、それまで別々だった可燃・不燃ごみのごみ袋が兼用となり、ペットボトルのごみ袋が廃止されました。



10位 「子ども子育て応援 なっちゃんの家」に「ポケモンこども食堂応援隊!」が訪問。県内初

令和7年9月に行われた「子ども子育て応援 なっちゃんの家」に「ポケモンこども食堂応援隊!」が訪問しました。一般財団法人ポケモン・ウィズ・ユー財団（東京都）の事業で、県内への訪問は今回が初めて。「ポケットモンスター」シリーズの人気ポケモン「ピカチュウ」も登場し、多くの親子連れでぎわいました。



9位 くにさきわくわく油田プロジェクトの成果。学校給食の配食車両が「高純度バイオディーゼル燃料専用車両」として運用開始

学校給食の配食車両が、くにさきわくわく油田プロジェクトで集まった廃油をもとにした高純度バイオディーゼル燃料専用車両として運用を開始しました。令和7年9月には、わくわく油田プロジェクトの推進活動を行った国東小学校の4年生が、自分たちの活動の成果である車両のお迎えをしました。



8位 国東さわらにセカンドブランド「白」誕生。お披露目会を実施

県外で高く評価されているブランド魚「国東さわら」にセカンドブランド「国東さわら 白」が誕生しました。国東さわらは、漁獲方法や重さの他、平均粗脂肪率が10%以上であるなどの認定基準を設けていますが、新たに平均粗脂肪率が7～10%未満を「白」として新ブランド化。令和7年10月にはお披露目会が実施されました。



7位 「葉加瀬太郎の音楽教室♪音楽の時間」を開催。市内の小学校6年生と中学生が名曲を楽しむ

令和7年6月、アストくにさきで「葉加瀬太郎の音楽教室♪音楽の時間」が開催されました。バイオリニスト葉加瀬太郎さんとチェリスト柏木広樹さん、ピアニスト西村由紀江さんがステージに立ち、葉加瀬さんの代表曲「情熱大陸」など11曲を演奏。市内の8小中学校の児童と生徒が、一流の芸術を楽しみました。



6位 鶴川の新たな名物「きとわ朝市」誕生

「朝の幸せ、きっと見つかる！」を合言葉に、令和7年7月に「きとわ朝市」が誕生しました。鶴川商店街周辺観光・交流拠点施設「きとわ」にて、主に奇数月に開催されています。ぜひご家族やお友達、ご近所の方と一緒にお越しください。第3回は1月10日（土）の午前9時～正午に開催。第4回は3月に開催予定です。



5位 市報くにさき2024年3月号が全国広報コンクール組み写真の部で入選

第18回国東市駅伝競走大会の様子を躍動感あふれる組み写真でお伝えした2024年3月号の見開き写真（4～5ページ）が、全国広報コンクール組み写真の部で入選しました。国東市として市報が入選するのは初めてのことです。